

報告書

A01-3 骨格筋の発達・維持・萎縮における負荷依存性の分子基盤の理解

研究代表者：瀬原 淳子（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所・教授）

招聘先 : 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生増殖制御学分野

招聘期間 : 2018年6月15日～2019年9月13日

招聘研究者: Mr. Xiao Ming Liu (Imperial College, London)

Mr. Xiao Ming Liu 氏は、ロンドンインペリアルカレッジの学生である。

彼は、実は2017年7-8月に瀬原研究室に summer student として滞在した経験を持つ。

その際はゼブラフィッシュを用いた実験を体験してもらい、2ヶ月間ながら、熱心に実験し、研究発表を行なった。この時の実験は実は我々の宇宙実験の結果をもとに行なったものだったが、Xiao はその宇宙データの解析についても大きな興味を持ったようである。翌年瀬原がロンドンに立ち寄り、彼とデータについて話をしたところ、さらにその解析を試みたい、ということであった。すでに彼はケンブリッジ大学への進学を決め、そこでオミックスを中心とする研究を行なおうとしていることから、遺伝子発現の解析技術を身につけておきたいと考えたのである。そこで国際支援にサポートしていただき、実現に至った。

私たちの研究チームは、遺伝子解析に関して、理化学研究所の松崎文雄グループと共同研究を行ない、解析手法について教わっていることから、瀬原研究室だけでなく、松崎研究室にも足を運んで、種々の解析手法を試すことになった。実施にあたり、松崎文雄・呉泉両博士のご協力を仰ぎ、有益な解析結果を得ることができた。

このような海外の若い研究者との研究交流は、短期間とはいえ彼らにとっては貴重な体験となる。

Xiao は、我々の研究室での体験を一つのきっかけに進路を切り開くことができたと言えるだろう。また、我々の研究室メンバーたちにも良い影響を与えたのではないかと願う。